

自己資本比率の状況

■ 自己資本比率とは

自己資本比率とは、リスクアセット(貸出金などの資産)に対する自己資本(資本金および過去の利益の蓄積等)の割合を示したもので、経営の安全性を示す重要な指標といわれています。

海外拠点を持つ銀行は国際統一基準(BIS基準)により8%以上を保つことが、また、海外拠点を持たない銀行は国内基準により4%以上を保つことが義務付けられています。ふくぎんは国内基準を適用しています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{資本金などの自己資本}}{\text{リスクアセット(貸出金などの資産)}}$$

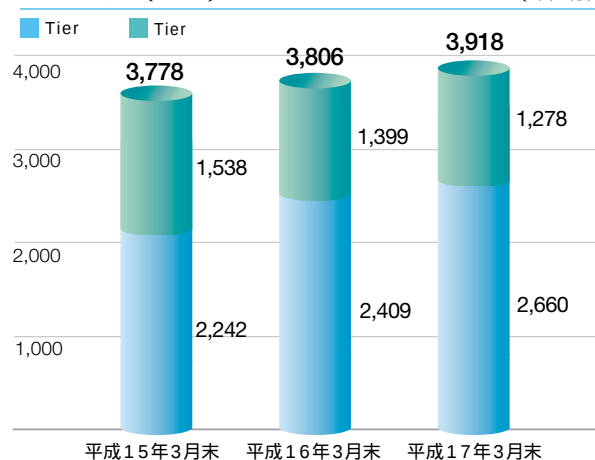
- リスクアセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスク・ウェイト(信用リスクの度合い)を乗じて得た額の合計額のことです。
- 自己資本は、資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目(Tier)と、劣後ローン・土地の含み益・一般貸倒引当金などの補完的項目(Tier)とに区分されます。

■ 当行の自己資本比率(連結ベース、国内基準)

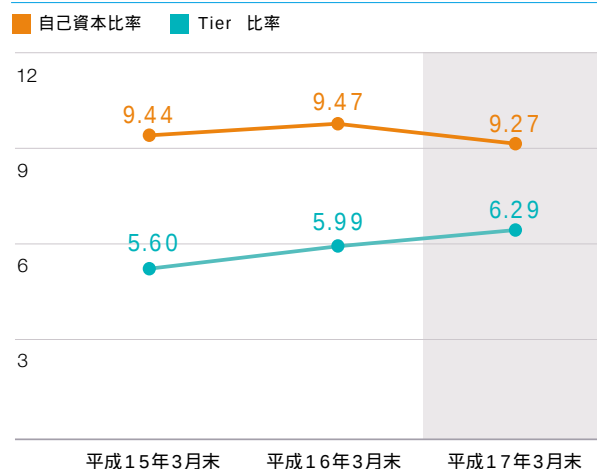
平成17年3月末の自己資本については、補完的項目であるTier は劣後債務の消却等により前年比121億円減少しましたが、基本的項目であるTier は利益の積み上げにより前年比251億円増加したことから、全体では前年比112億円増加し3,918億円となりました。

自己資本比率(連結ベース)は、貸出金増加に伴い分母であるリスクアセットが増加したため、前年比0.20%低下し9.27%となりましたが、中核的自己資本(Tier)は利益の内部留保により順調に積み上がっており、Tier 比率は6.29%に上昇しました。

自己資本残高(連結) (単位:億円)



自己資本比率・Tier 比率(連結) (単位:%)



リスクアセット残高(連結) (単位:億円)

